

**平成30年3月期第2四半期  
決算説明資料**

**名古屋鉄道株式会社**

2017年11月7日

# 連結損益計算書

( )は増減率

※5月時点 (単位:百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減	(対前年同期)	前回予想 (※)	増減
営業収益	294,530	292,292	2,238 (0.8)	不動産 +2,458 運送 +969 交通 +892 レジャー・サービス +461 流通 △850 その他 △735	300,000	△ 5,470 (△1.8)
営業費用	269,123	268,953	170	燃料費 +792	277,900	△ 8,777
営業利益	25,407	23,339	2,067 (8.9)	交通 +836 不動産 +514 レジャー・サービス +313 その他 +268 流通 +194 運送 △50	22,100	3,307 (15.0)
経常利益	26,474	24,532	1,941 (7.9)	営業外収益 △418 営業外費用 △292	22,200	4,274 (19.3)
特別利益	776	1,260	△ 483	投資有価証券売却益 △246	300	476
特別損失	1,192	753	439	減損損失 +592	400	792
親会社株主に帰属する 四半期純利益	16,875	15,181	1,694 (11.2)		14,000	2,875 (20.5)

**営業収益** : 不動産事業における増収やトラック事業での貨物取扱量の増加、さらには鉄軌道事業における輸送人員の増加により増収。

**営業利益** : 燃料費は増加したものの、増収により増益。

**経常利益** : 持分法投資利益の減少など、営業外損益は悪化したものの、営業増益により増益。

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

: 減損損失の増加等により特別損益が悪化したものの、増益。

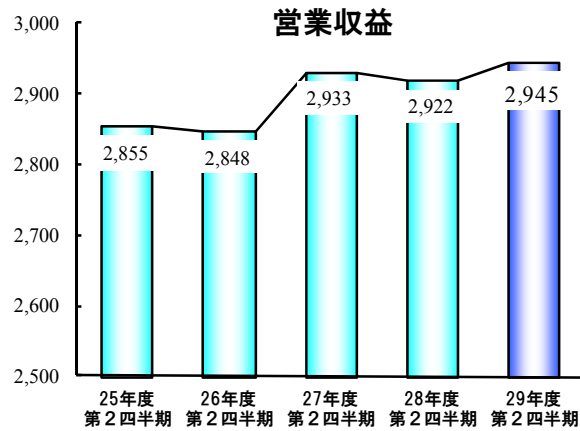
《連結子会社数》 : 118社 (増加 2社) 上海名鉄国際貨運代理 (新規設立)、名鉄ライフサポート (新規設立)  
(減少 7社) 名古屋商工会館 (被合併)、岐阜バス観光 (被合併)  
岐阜バスコミュニティ (被合併)、大阪名鉄急配 (被合併)  
関東名鉄カーゴサービス (被合併)、東京名鉄カーゴサービス (被合併)  
下呂名鉄タクシー (株式譲渡)

《持分法適用会社数》 : 15社 (増減なし)

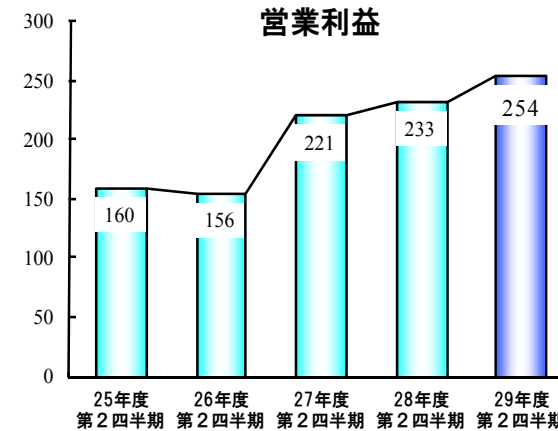


# 連結業績の推移

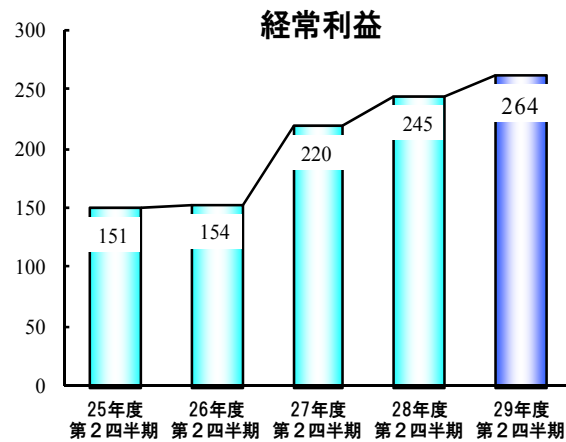
(単位:億円)



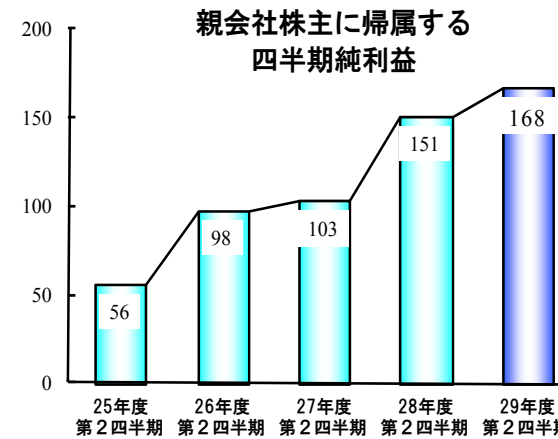
2期ぶり増収



3期連続増益



6期連続増益



4期連続増益



# セグメント別営業成績

(単位：百万円、%)

営業収益	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	84,091	83,198	892	1.1	鉄軌道事業における輸送人員の増加により増収
運送事業	65,803	64,834	969	1.5	トラック事業での貨物取扱量の増加などにより増収
不動産事業	41,434	38,976	2,458	6.3	賃貸事業での新規賃貸物件の収益寄与や駐車場数の増加に加え、分譲マンションの引渡戸数の増加もあり増収
レジャー・サービス事業	27,881	27,419	461	1.7	名鉄インの新規出店や旅行業の収入増加などにより増収
流通事業	63,453	64,304	△ 850	△ 1.3	百貨店業での減収により、全体では減収
その他の事業	32,414	33,149	△ 735	△ 2.2	設備工事の受注減少などにより減収
調整額	△ 20,548	△ 19,590	△ 958	—	
合計	294,530	292,292	2,238	0.8	

営業利益	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減率	コメント
交通事業	13,534	12,697	836	6.6	燃料費や人件費は増加したものの、鉄軌道事業の増収により増益
運送事業	3,426	3,477	△ 50	△ 1.5	燃料費や人件費の増加により減益
不動産事業	5,255	4,741	514	10.9	賃貸事業の増収により増益
レジャー・サービス事業	1,140	826	313	37.9	増収による増益
流通事業	389	195	194	99.4	百貨店業での収支改善や駅店舗事業の増収に加え、輸入車販売業における利益率の改善などにより増益
その他の事業	1,384	1,115	268	24.1	修繕費等の減少による航空事業の増益もあり、全体でも増益
調整額	276	285	△ 9	—	
合計	25,407	23,339	2,067	8.9	



# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期	前期末	増減額	コメント
流動資産	158,480	173,058	△ 14,577	現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少
固定資産	930,794	920,824	9,969	
有形固定資産	784,043	778,914	5,128	設備投資による増加
無形固定資産	8,187	9,157	△ 969	
投資その他の資産	138,563	132,752	5,810	保有上場株式の時価上昇による投資有価証券の増加
資産合計	1,089,274	1,093,882	△ 4,607	
流動負債	237,965	278,959	△ 40,993	支払手形及び買掛金の減少 短期借入金及び1年以内償還社債の減少
固定負債	487,956	472,110	15,846	社債及び長期借入金の増加
負債合計	725,922	751,069	△ 25,147	
純資産合計	363,352	342,813	20,539	株主資本 +12,085 〔親会社株主に帰属する四半期純利益 +16,875〕 〔剰余金の配当 △4,596〕
負債純資産合計	1,089,274	1,093,882	△ 4,607	
連結有利子負債合計	455,971	463,389	△ 7,418	〔参考〕純有利子負債残高 445,713 (前期末比 +5,026)



# 個別業績

## ◆個別損益計算書◆

( ) は増減率

(単位：百万円、%)

	当第2四半期	前第2四半期	増減	(対前年同期)
営業収益	54,362	53,423	939 (1.8)	鉄軌道事業 +1,148 開発事業 △209
営業費用	42,493	43,475	△ 982	分譲原価 △383 人件費 △116
営業利益	11,869	9,947	1,921 (19.3)	
経常利益	16,954	14,318	2,636 (18.4)	営業外収益 +524 営業外費用 △189
四半期純利益	13,337	10,832	2,505 (23.1)	特別利益 △749 特別損失 +647

## ◆名鉄 運輸成績◆

(単位：百万円、%)

(単位：千人、%)

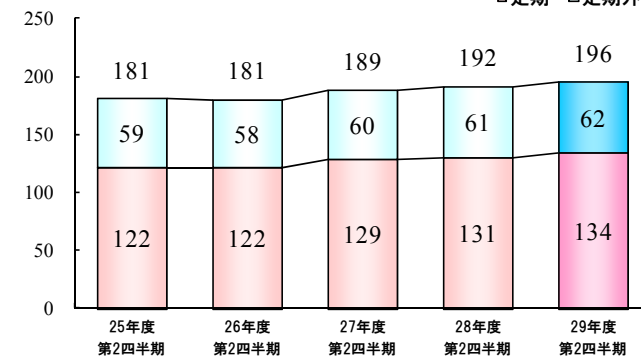
旅客収入	当第2四半期	前第2四半期	増減率	輸送人員	当第2四半期	前第2四半期	増減率
定期外	24,703	24,010	2.9	定期外	62,843	61,439	2.3
定期	19,871	19,391	2.5	定期	134,155	131,101	2.3
計	44,574	43,401	2.7	計	196,998	192,540	2.3

(注)定期外旅客収入には特別車両料金を含む。

(単位:百万人)

輸送人員の推移

□定期 □定期外



# 平成30年3月期 連結業績予想

※5月時点 ( )は増減率

(単位：百万円、%)

	29年度 今回予想	前回予想 (※)	増減	(対前回予想)	28年度	増減
営業収益	608,000	610,000	△2,000 (△0.3)	不動産 △3,000 レジャー・サービス △1,500 その他 △300 流通 +1,600 交通 +800 運送 +500	599,569	8,431 (1.4)
営業利益	45,500	42,200	3,300 (7.8)	交通 +1,400 その他 +800 不動産 +400 流通 +400 運送 +200 レジャー・サービス △100	44,180	1,320 (3.0)
経常利益	46,500	42,600	3,900 (9.2)		46,142	358 (0.8)
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,000	26,100	900 (3.4)		23,433	3,567 (15.2)
設備投資額	53,100	53,100	—		48,120	4,980 (10.3)
減価償却費	39,500	39,500	—		38,748	752 (1.9)
純有利子負債	438,000	438,000	—	※純有利子負債：有利子負債－現預金・短期有価証券	440,687	△2,687 (△0.6)

前回予想（5月10日）比では、第2四半期実績を踏まえ、営業収益は、不動産事業、レジャー・サービス事業などで下振れを見込み、全体では減収を予想。  
一方、営業利益は鉄軌道事業など交通事業を中心に全体で増益の見通し。また、経常利益、最終の当期純利益も、前回予想を上回る見通し。



# 平成30年3月期 個別業績予想

	※5月時点		（ ）は増減率		(単位：百万円、%)	
	29年度 今回予想	前回予想 (※)	増減	(対前回予想)	28年度	増減
営業収益	107,700	106,200	1,500 (1.4)	鉄軌道事業 +1,100	105,741	1,958 (1.9)
営業利益	20,500	19,200	1,300 (6.8)		19,113	1,386 (7.3)
経常利益	24,900	22,800	2,100 (9.2)		22,952	1,947 (8.5)
当期純利益	17,100	16,300	800 (4.9)		13,677	3,422 (25.0)

## ◆ 1株当たり配当金◆

(単位：円)

	30年3月期 (今回予想)	29年3月期
配当金額	27.50	5.00

平成30年3月期(予想)の配当金については、平成29年10月1日実施の株式併合の影響を考慮した1株当たり配当金を記載しています。  
 なお、平成30年3月期(予想)の配当金は、特別配当2円50銭を含んでおり、株式併合の影響を考慮しない場合の1株当たり配当金は5円50銭で、平成29年3月期に比し50銭の増配となります。

前回予想(5月10日)比では、営業収益は鉄軌道事業における増収により、全体でも増収の見通し。  
 営業利益は増収による増益を見込むほか、経常利益、当期純利益も増益となる見通し。





# 連結經營指標 (PLAN123)

	27年度	28年度	(11月時点)	
			29年度 予想	29年度 中計目標
ROE (純利益/自己資本)	8.7%	7.7%	8.2%	8.0%
ROA (営業利益/総資産)	4.2%	4.1%	4.2%	3.8%
純有利子負債/ EBITDA倍率 (※)	5.5倍	5.3倍	5.2倍	5.5倍
株主資本比率	18.1%	18.7%	20.8%	20.0%

<参考>

DOE (配当総額/自己資本)	1.6%	1.5%	1.5%	1.5% ~2.0%
-----------------	------	------	------	---------------

※純有利子負債：有利子負債－現預金・短期有価証券  
EBITDA：営業利益＋減価償却費



業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性がありますことをご了承下さい。

